

授業科目 機能解剖学 II

【担当教員名】 永野 康治		対象学年	3・4	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎					
【概要・一般目標：GIO】 解剖学の内、運動器（筋・骨格）に焦点を当て、講義を行う。本授業では身体の各部位ごとに筋形状、筋機能、神経支配について学習し、機能解剖に関する理解を深める。更に、歩行や走行、スポーツ動作における筋・骨格の役割について学習し、スポーツ外傷・障害の発生要因や、パフォーマンスの向上につながる要因についても学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 各部位の筋形状、筋機能、神経支配について理解する。 2. 運動器とスポーツ外傷・障害との関連やスポーツ動作との関連を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1	講義
2	筋の形状と機能 上肢 1			1	講義
3	筋の形状と機能 上肢 2			1	講義
4	筋の形状と機能 上肢 3			1	講義
5	筋の形状と機能 下肢 1			1	講義
6	筋の形状と機能 下肢 2			1	講義
7	筋の形状と機能 下肢 3			1	講義
8	筋の形状と機能 体幹			1	講義
9	筋の形状と機能 理解度確認			1	理解度確認テスト
10	神経支配 1			1	講義
11	神経支配 2			1	講義
12	歩行・ランニングの運動学 1			2	講義
13	歩行・ランニングの運動学 2			2	講義
14	スポーツ外傷・障害と関節機能			2	講義
15	神経支配、歩行、スポーツ外傷・障害と関節機能 理解度確認			1	理解度確認テスト
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		公認アスレティックトレーナー専門科 目テキスト2：運動器の解剖と機能 筋骨格系のキネシオロジー	財団法人 協会 嶋田智明	日本体育 財団法人 協会 医歯薬出版	日本体育 2005・10,000円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験			【履修上の留意点】 毎回、授業終了時に小テストを行う。		